

Vol.

168号

Colony Tokyo

コロニーとうきょう

2020(令和2)年
1月1日発行



社会福祉
法人 東京コロニー

〒165-0023

東京都中野区江原町 2-6-7

TEL 03-3952-6166

FAX 03-3952-6664

<https://www.tocolo.or.jp/>

(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 43 三浦有子さん 『千両』(詳しくは15頁をご覧ください。)

時評

2019年度上半期事業報告

法人の主な動きから

とびっくす

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所(〒164-0011 中野区中央3-19-1)・コロニーもみじやま支援センター(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室・デジタルメディアセンター(〒170-0005 豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル6F)・東京都葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・東村山市障害者就労支援室(〒189-0014 東村山市本町1-1-1)・東京都大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22)・東久留米第三氷川台寮(〒203-0002 東久留米市神宝町2-14-26)・えはらハイツⅠ、Ⅱ、Ⅲ・中野江原短期入所・中野区日中一時支援(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)・とよたまハイム(〒176-0014 練馬区豊玉南2-3-9)・天神山こあらハイツ(〒202-0013 西東京市中町3-10-9)・青葉町グループホーム(〒189-0002 東村山市青葉町3-2-2)

時 評

期待を込めて

理事長 中村 敏彦

はじめに

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

最近是一年が過ぎるのがやたらと早く感じます。光陰矢の如し。毎日を大切に生きようと思います。

さて、障害者施策が目まぐるしく変化している中、昨年4月に文部科学省に「障害者活躍推進チーム」が設置されました。2018年に明らかになった中央省庁や地方自治体などの公務部門における、障害者雇用増し問題の再発防止策として、厚生労働省が発令した「障害者活躍推進計画作成指針」を受けてのことと思われる。

豊かな人生を送るために、成長過程における様々な教育の場はとても

重要です。厚生労働省の施策ではなく、教育関係管轄で障害者活躍推進となれば興味がわきます。

年明けくらいは明るい話題をと考え、本稿では、文部科学省による障害者施策について、ポジティブに概観してみたいと思います。評論家でもないのに評論してみた書き方については予めご容赦願います。

障害者活躍推進プラン

『障害者とその個性や能力を生かして活躍できる場のより一層の拡大を目指し、文部科学副大臣のもとに推進チームを設置し、文部科学省における障害者雇用の推進や、学校教育、生涯学習、文化、スポーツの各分野において進められている障害者施策の中で、より重点的に進めるべきと考えられる6つの活躍推進プラン』が打ち出されています。

1. 文部科学省における障害者雇用推進プラン（障害のある人とともに働く環境を創る）

省内向けの雇用推進プランではありますが、『省全体で障害者雇用を推進するという意識を徹底して、障害者の活躍の場を着実に拡充するため、障害者雇用の推進に関する実務責任者等の配置や理解促進に向けた職員研修の充実、多様な任用形態（ブレ雇用、ステップアップ制度等）の

導入などを盛り込み、障害者雇用率の達成に留まらず、障害者とともに働く環境を創り、障害者が意欲と能力を発揮し、一層活躍できる職場づくりを目指す』としています。

義務雇用の弊害は、雇わなければという意識が強くなり、労働力として活用するという意識を抑制させてしまいます。その点では、省庁全体の意識改革を徹底し、活躍の場を拡充するという発想はとても重要なことだと思います。また、雇用率達成に留まらず、働く環境づくりには共に創造するとしており、経過を見守り結果に期待したいと思っています。

2. 共生に向けた「学び」の質の向上プラン（発達障害等のある子供の学びを支える）

『学校等における発達障害等のある児童生徒に対する指導や支援に関する知見を集約・整理し、教師に還元することで、通級による指導を含む特別支援教育の充実を図り、児童生徒の学びの質の向上につなげることを目的に、通級における指導方法のガイドの作成、家庭・教育・福祉の連携の確実な推進、教師の特別支援教育に関する専門性を高めるための仕組みの検討を実施する。』としています。

教育は単に科目学習の内容に限ったことではありません。普通級や通級教育の重要性を把握したうえで、

障害種別による専門性を高めることやそれぞれの教育方法など工夫が必要です。過度な競争による優秀の価値観は、場合によっては、人権侵害などへの深刻な事態を招きます。一人一人の違いを認め合うことや助け合うことなど、幼少期に学ぶことが大切です。そのような学びの機会を得た者が社会の構成員になっていけば、共生社会の実現に近づくのではないでしょうか。

3. 障害者の生涯学習推進プラン（障害のある人の生涯にわたる多様な学びを応援する）

人が生涯に亘って学びを続けていくことは、とても価値のあることだと思います。本プランでは、『学校卒業後の障害者の主体的・継続的な学習の支援が重要な課題となっていることから、地方公共団体と大学や企業とが連携し、就労も見据えた学びの場づくりを進めること、学びの場の担い手育成のためのコンファレンスの開催、障害者の生涯学習を支援する先端技術の活用方策等の調査研究などを盛り込んだものとなっており、このような取組を通じて、障害者の真の社会参加や自立の実現を目指す。』としています。

過去には国内でもあまりなじみなかった生涯学習ですが、1981年、国際障害者年の際に当時の中央

教育審議会答申で広く採用されたようです。障害のある人も同様に生涯教育の重要性に着目したことは、とても評価できる取り組みです。AIなども活用し、調査研究から一歩進んだ教育実践に移していただきたいと思っています。

4・障害者による文化芸術活動推進プラン（障害のある人の文化芸術活動を支援する）

当法人で1986年から運営しているアートビリティ事業からもわかるように、障害のある人の芸術はあまたの意匠独特の魅力的な価値があります。『新たな価値の創造や、他者の相互理解を進める力を持つており、障害者による文化芸術活動には、作品の魅力だけでなく、既存の文化芸術に対して新たな価値観を投げかけるなど、多様な価値を有するものです。本プランでは、先月策定された「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画」を踏まえ、鑑賞や創造、発表の機会の拡充や、権利保護の推進、文化芸術活動を通じた交流の促進、人材育成や情報の収集などの取組を通じて、我が国の文化芸術活動のより一層の推進や、共生社会の実現に向けて、しっかりと取組を進めて参ります。』としています。

用する取り組みも重要だと思っています。作品を使った数々の商品開発にも着手し、所得支援にもつながることを期待します。

5・障害者のスポーツ活動推進プラン（障害のある人のスポーツ活動を支援する）

今年は、東京オリンピック、パラリンピックが開催される年でもあります。障害者スポーツに焦点を当てた広報には期待が膨らみ、今からワクワクしています。『障害者が身近な場所です。スポーツに親しめる環境づくりを加速化させるために、小・中・高等学校に在籍する障害のある児童生徒のスポーツ実施環境の整備、大学における障害者スポーツの指導者育成のカリキュラム導入の推進等、障害のある人がスポーツを実施するための拠点の整備、スポーツを試すために必要な要素をそろえた普及拠点の見える化、スポーツイベントにおける障害者の観戦のしやすさの向上、会場づくりや運営方法について好事例を収集する。』としています。

1964年当時は、外国人選手の社会参加よりも比較にならないくらい、厳しい状況からの参加だったことが記録されています。また、競技の結果についても、メダル争いに加わるほどの成長です。リハビリテーションを兼ねてスポーツを楽しむことは、すべての人にとって有意義なことではないでしょうか。

6・教育委員会における障害者雇用推進プラン（障害のある人が教師等として活躍することを推進する）

省内での雇用を具体的に推進しようというプランです。『障害のある教師等が児童生徒等の身近に居ることによる教育的効果も踏まえ、教育委員会における障害者雇用を積極的に意義付けて取組を推進するものであり、教師の障害者雇用に係る実態把握、大学等の教職課程における学生の支援や採用選考試験の改善、入職後の合理的配慮に係る好事例の収集・発信など、教師の養成、採用、入職後の各段階にわたる総合的な取組を通じて、都道府県等の教育委員会と取組を促すなど、障害者が教師等として活躍できる環境整備を進めてまいります。』とあります。

影響をもたらすことと思っています。アメリカの自立生活運動の中で始まったピアカウンセリングの概念に近いと感じました。カウンセリングという大げさかもしれませんが、同じ立場にある仲間どうしによって行われる助言や指導には、想定外の相乗効果が期待できます。教育現場から障害のある人の職業能力の可能性を発信していただければと思います。

まとめに

障害者への教育、生涯学習の充実、現在の教育課題のひとつひとつを改善していただけること、そして、他のものとの平等の環境づくりなどに積極的に取り組んでいただけることは、歓迎すべき施策であります。何よりも保護の対象ではなく、社会の一員として地域社会で共生することを推進していくことなので、文部科学省で取り組まれている推進プランが、単に一省庁の取組ではなく、地方公共団体や企業などにも広く浸透していくことが重要なカギとなります。さらに、様々な分野で「障害者の活躍推進」が広まり、将来的には障害分野に留まることなく、子育て世代、母子家庭、父子家庭、高齢者や引きこもりの方など、地域で生活のしづらさを抱えたすべての人たちにも、拡大していくことに期待したいと思っています。

2019年度 上半期事業報告

※2019年9月末時点の報告書となります。

1. はじめに

経済大国を中心に様々な貿易摩擦が続いているなか、わが国でも、財政改革、社会保障改革、憲法改正など様々な課題を抱えています。実感の無い景気回復は、厚生労働省の毎月勤労統計ならびに賃金構造基本統計において、不正調査が明るみになったことから真実味を帯び、加えてこの数年、過去に経験のない自然災害も続いており、法人経営においては、広範囲にわたる経営危機管理が求められています。

わが国が国連障害者権利条約を批准してから5年目、市民団体によるパレルレポートが提出されました。いよいよ私たちを取り巻く障害分野の現状と課題が問われることとなります。

前年度4月から施行された報酬改定について、一般社団法人ゼンコロで影響調査(2017年度対2018

年度比較)を実施したところ、当法人では就労移行支援事業、放課後等デイサービス事業において減収となりました。10月には消費税増税が実施され、経営的に影響を受けることが懸念されます。本年度は、そのような環境の中、激変する社会福祉施策には柔軟に対応し、障害のある人の暮らしを支え続けられる事業を継続することを基本指針としました。

2. 上半期事業結果と年度方針の達成状況

本年度は、障害福祉サービス等報酬改定や消費税増税に伴う影響などを見込み、厳しい経営環境を前提に事業計画を立て、上半期の事業結果は次のとおりとなりました。在籍者の推移では表1に示すとおり、総人数913名(前年度末871名)で42名増(非常勤嘱託医を含まない)、内障害者は615名(前年度末581名)で34名増、

障害者比率は67・4%(前年度末66・7%)となりました。期中の法人全体の経営結果は、貸借対照表(表2)に示すとおりとなりました。

(1) 経営の基本方針

経営理念や倫理、社会的役割に伴うコンプライアンスやガバナンスを重視した運営に努め、福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関の審査を受審し、苦情解決第三者委員制度の設置や広報誌・ホームページ等による情報開示に取り組みました。経営や福祉の専門性の向上を目的とした教育、研修は計画的に実施しています。法改正や業務改善などに伴い、法人の規程等を適宜見直しました。

(2) 財務・資金管理

会計顧問の指導を受けながら、会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を会計管理に反映させました。財務や資金

管理については、拠点管理原則に従いそれぞれの経営努力によるものとしています。会計基準の範囲で法人内部の資金を活用できるよう具体策を検討しています。

(3) 事業の継続

地域の福祉ニーズの変化に視点を置いて、継続可能な事業への体質改善に努力しています。また、自然災害等にも注力し、BCP(事業継続計画)を全拠点で策定に取り組んでいます。

(4) 人材確保・育成

改定した給与規程の運用を開始し、新規採用や職場定着に反映させました。また、今後の規程改定に向けて、労働組合や従業員代表との協議会を開催しています。

(5) 他の団体との協力連携

障害者福祉の向上のために、各省市庁ならびに、東京都、各区市自治体、全国社会福祉協議会、東京都社会福

社協議会、一般社団法人ゼンコロ、特定非営利活動法人日本障害者協議会、全国社会就労センター、日本セ ルプセンター、東京都セルプセンター などにおいて積極的に役割を果たし、従業員等が対外的に役割発揮できる よう配慮し支援しています。

(6) 地域活動

拠点ごとの地域活動においては、各自治体との連携を深め情報交換を 密にしながら、地域福祉の向上なら びにニーズに応じた障害者福祉の充 実に努め、地域の福祉関連ネットワー クには積極的に参画することで、地 域の重要な社会資源になり得ること を目指しています。

3. 各拠点の事業実施概要

(1) 法人本部(事務局)

法人本部は常任理事会の統括を受 け事務局長のもと、関連する法律お よび通達にしたがって対内外業務の 実務処理を行いました。外部会計監 査法人による監査も3年目に入り、 会計をはじめとする法人運営全般に わたるコンプライアンスおよびガバ ナンス等の強化が図られ、社会の負

託にこたえる法人運営に努めていま す。また、税務・会計顧問および顧 問弁護士との業務委託契約により専 門的な助言や指導を受け、より適正 な処理に努めるよう各拠点に情報提 供しました。

(2) 福祉事業本部(グループホーム等、 トーコロ生活支援センター)

地域生活を支援する事業として、 グループホーム、短期入所、居宅介 護事業等を運営し、本年、6月に東 村山市内に「青葉町グループホーム」 を開設しました。個々の利用者のニー ズに応じて支援し、事業運営の安定 と支援の質の向上に努めました。特 定相談支援事業については、コロニー 中野と連携して取り組み、また、前 年度に引き続き、中野区障害者自立 支援協議会の事務局業務を務めてい ます。

(3) IT事業本部(コーコロ情報処理セ ンター(事業部、職能開発室、デ

ジタルメディアセンター)
事業部では、指名競争入札には価 格の据え置きで受注量の安定を図り、 稼働日では業務の繁忙に応じて勤務 日の調整を行いました。厳しい環境

の中で加工高は前年度より下回る結 果となりました。自治体受託業務は、 業務のオンライン化に伴い業務内容 が大幅に縮小され、本年12月末をもっ て1自治体の受託契約が終了となる 状況です。一方で、受託自治体居住 区および近隣の市区町村から7名の 障害者を継続雇用することができま した。

デジタルメディアセンターでは、 既存顧客にはWeb・オープン系シス テム開発や、システム運用支援、ホー ムページの制作を主軸に企画提案等 を行い、新規顧客獲得にも積極的に 営業活動を行いました。前年度から 継続している大口の受注案件には、 多くの労力とコストを費やし終息さ せました。その他は固定収入の柱と して年間一括で継続受注し事業の要 となつていきます。法人内のIT部門

としては、基幹システムの安定稼働 やネットワークを介して、横断的に 連携して様々な要望に対応しました。 求人については、障害者雇用を優先 して取り組んでいます。社会全体 の人材不足により、なかなか結果に 結びついていません。人材育成につ

いては、業務が多忙な状況であつて も、研修やセミナーへ積極的に参加 させました。

職能開発室では、重度障害のある 方のITの在宅教育および在宅就労 の支援・啓発の事業と、情報利活用 の底辺拡大のための事業(東京都障害 者IT地域支援センター)を順調に 実施中です。外部に向けての発信は、 福祉関連や障害関連の機関誌、情報 誌等への寄稿、また全国の在宅就労 支援団体との連携した取り組みや、 特別支援学校への研修などを本年度 も継続しています。事業は、障害福 祉施策では対応が困難な領域に取り 組んでおり、主に自治体と企業の委 託金ならびに助成金で運営していま す。

(4) 社会就労事業本部(コロニー中野、 中野区仲町就労支援事業所、コロ

ニーもみじやま支援センター、コ ロニー東村山、トーコロ青葉ワー クセンター)
コロニー中野では、生活介護事業 を開始して2年目となり、改築移転 に伴う影響は概ね解消し、それぞれ の事業活動において安定させること

ができました。短時間利用者の増加により実利用率は5%下がっているものの、定員を満たしているため障害福祉サービス等事業収益は15%増えています。見学希望者も多い中、実習では待機状態がようやく解消されてきました。生活介護事業の送迎は範囲を含めた相談も多く、また就労継続支援B型事業から生活介護事業へサービス移動する利用者も増加傾向にあるため、適切な支援体制を構築していくことが課題となっています。

中野区仲町就労支援事業所では、中野区との基本協定、管理運営業務に関する協定を遵守しています。当初31名の利用者は本期末現在では35名となっていますが、半数以上が週3日程度の通所状況であり、退所者や長欠者の影響で1日あたりの通所者数は減少しています。本年度は、無理なく通所日を増やせるよう生活支援等を個別支援計画に含め、また、区内の支援機関等と連携して積極的

を作成し、本人と進捗状況を確認しながら手厚い支援を続けています。

コロニーもみじやま支援センターは事業開始2年目となり、年度当初に新たに10名の利用者を受け入れました。短期入所事業では緊急一時支援事業も開始し、日中支援の従業員

の応援態勢を敷いて対応しています。利用者増と前年度の事業状況から取得できた加算項目等により、訓練等給付費とサービス推進費が増収となり損益状況は改善させることができました。事業運営では新たな事業におけるノウハウの蓄積に継続して努力していくこととします。

コロニー東村山の印刷事業は引き続き厳しい状況にあります。売上げの年間計画は前年度実績とオートビリティを含めましたが、厳しい受注状況から判断して予算を一部組み直してスタートしました。売上高は前

80名としましたが、上半期末の利用実績は73名と定員割れが続いており、下半期に課題を残しました。

トーコロ青葉ワークセンターでは、売上高は計画を下回ったものの、業務改善を目的として設置した「標準化プロジェクト」により、作業料金を見直すなど商取引の適正化を進めた結果、加工高は向上しました。障害福祉サービス等事業については、報酬改定により大きく減算になったことを踏まえ、就労移行の実績をやることで報酬単価を上げ、放課後等デイサービス事業では利用日数を増やす努力を行いました。全体では、新たに総合案内パンフレットを作成し、青葉通信、ブログ等による積極的な広報活動により利用者数は増加しました。

(5) 福祉工場事業本部(東京都葛飾福祉工場、東京都大田福祉工場)
東京都葛飾福祉工場では、障害者の自立支援、就労支援を利用者の立場に立ち、利用者一人ひとりが満足できるような利用目的に沿った支援体制づくりに取り組んできました。就労支援事業は、製袋事業、縫製事業、

防災事業ともに厳しい状況でありましたが、防災事業では下半期に向けてマイナスを取り戻すことができるとような契約案件が見込まれています。製袋事業は上半期で損益の改善が見られましたが、縫製事業、栽培事業とともに防災事業への依存体質から脱却するために、将来を見据えた事業運営に取り組んでいくこととします。

東京都大田福祉工場は、平等性・企業性・民間性という東京コロニーの3つのコンセプトを前面に掲げ、より障害者が基幹を担う事業を推進してきました。前年度6月に新工場棟が竣工し、旧工場群を統合、事業を開始してから1年余が経過しましたが、新たな課題や多くの問題に直面しながらも、収益の向上と障害福祉サービス等事業の改革をつうじて、利用者の社会的経済的な自立に向けた活動を推進し一定の成果を残すことができています。

表1 在籍者の推移

自2019(平成31)年4月1日 至2019(令和元)年9月30日

(単位：人)

	前年度末 在籍者数	期中増減				主な減員理由			上半期末 在籍者数
		増員		減員		自己都合	一般就労	疾病、その他	
雇用就労者	96	4	(1)	4	(0)	3	0	1	96
	(79)	(3)	(0)	(3)	(0)	(2)	(0)	(1)	(79)
事業・施設の利用者	400	51	(0)	21	(0)	9	10	2	430
その他	85	17	(0)	13	(0)	1	0	12	89
障害がある在籍者 (計)	581	72	(1)	38	(0)	13	10	15	615
	(79)	(3)	(0)	(3)	(0)	(2)	(0)	(1)	(79)
障害がない在籍者	290	27	(0)	19	(1)	18	0	0	298
合 計	871	99	(1)	57	(1)	31	10	15	913
	(79)	(3)	(0)	(3)	(0)	(2)	(0)	(1)	(79)

- (注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の()で再掲している。
2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を()で表記している。
3) 障害のない在籍者は原則雇用保険加入者とする。
4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。
5) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者を含む。

表2 法人単位貸借対照表

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

2019年 9月30日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	4,037,183,207	4,487,753,142	-450,569,935	流動負債	1,390,267,592	1,850,258,698	-459,991,106
現金預金	2,534,667,908	2,582,811,698	-48,143,790	短期運営資金借入金	250,000,000	250,000,000	
事業未収金	885,127,618	1,331,345,447	-446,217,829	事業未払金	673,259,839	1,171,883,274	-498,623,435
未収金	8,381,953	18,632,891	-10,250,938	その他の未払金	27,373,086	80,702,394	-53,329,308
未収補助金	12,814,498	35,357,727	-22,543,229	1年以内返済予定設備資金借入金	5,364,000	19,968,000	-14,604,000
受取手形	53,893,636	144,821,486	-90,927,850	1年以内返済予定リース債務	69,577	386,813	-317,236
貯蔵品	2,924,031	2,417,302	506,729	1年以内支払予定長期未払金	4,967,072	10,748,214	-5,781,142
商品・製品	283,307,752	281,539,319	1,768,433	未払費用	36,314,144	48,229,604	-11,915,460
仕掛品	18,672,327	26,961,634	-8,289,307	預り金	39,363,233	38,284,708	1,078,525
原材料	25,778,095	23,313,044	2,465,051	職員預り金	16,286,763	15,956,116	330,647
立替金	22,205,620	26,684,455	-4,478,835	前受金	39,426,014	31,853,115	7,572,899
前払金		2,160,000	-2,160,000	前受収益	390,451		390,451
前払費用	21,554,039	13,178,756	8,375,283	仮受金	881,896		881,896
短期貸付金	740,771		740,771	貸与引当金	131,707,818	150,206,190	-18,498,372
仮払金	33,853,066		33,853,066	未払税金等		32,040,270	-32,040,270
徴収不能引当金△	1,913,321	1,470,617	442,704	仮受消費税	164,863,699		164,863,699
仮払消費税	135,175,214		135,175,214	固定負債	973,774,010	972,117,709	1,656,301
固定資産	5,632,836,027	5,696,646,818	-63,810,791	設備資金借入金	436,822,000	436,822,000	
基本財産	3,472,271,474	3,537,031,622	-64,760,148	長期運営資金借入金	50,000,000	50,000,000	
土地	812,128,671	812,128,671		リース債務	354,270	202,440	151,830
建物	3,581,490,770	3,581,490,770		退職給付引当金	459,513,192	460,592,626	-1,079,434
建物減価償却累計額△	921,347,967	856,587,819	64,760,148	役員退職慰労引当金	3,043,314	3,043,314	
その他の固定資産	2,160,564,553	2,159,615,196	949,357	長期未払金	24,041,234	21,457,329	2,583,905
土地	298,950,200	298,950,200		負債の部合計	2,364,041,602	2,822,376,407	-458,334,805
建物	715,080,931	674,353,047	40,727,884	純 資 産 の 部			
構築物	136,089,651	135,048,789	1,040,862	基本金	300,915,620	300,915,620	
機械及び装置	788,667,941	797,107,294	-8,439,353	基本金	300,915,620	300,915,620	
車輛運搬具	72,948,357	68,864,584	4,083,773	国庫補助金等特別積立金	2,704,836,048	2,761,997,054	-57,161,006
器具及び備品	291,316,021	280,497,442	10,818,579	国庫補助金等特別積立金	2,704,836,048	2,761,997,054	-57,161,006
建設仮勘定		35,620,976	-35,620,976	その他の積立金	899,622,700	905,622,700	-6,000,000
建物減価償却累計額△	399,390,633	387,420,502	11,970,131	その他の積立金	53,898,876	59,898,876	-6,000,000
構築物減価償却累計額△	53,581,272	50,009,088	3,572,184	移り時特別積立金	60,000,000	60,000,000	
機械及び装置減価償却累計額△	707,186,254	709,242,967	-2,056,713	施設整備等積立金	785,723,824	785,723,824	
車輛運搬具減価償却累計額△	59,175,630	57,847,719	1,327,911	次期繰越活動増減差額	3,400,603,264	3,393,488,179	7,115,085
器具及び備品減価償却累計額△	186,682,906	177,264,898	9,418,008	次期繰越活動増減差額	3,400,603,264	3,393,488,179	7,115,085
権利	19,500	19,500		(うち当期活動増減差額)	1,115,085	47,796,811	-46,681,726
ソフトウェア	46,808,451	29,013,123	17,795,328	純資産の部合計	7,305,977,632	7,362,023,553	-56,045,921
退職給付引当資産	306,976,057	307,772,794	-796,737	負債及び純資産の部合計	9,670,019,234	10,184,399,960	-514,380,726
その他の積立資産	899,622,700	905,622,700	-6,000,000				
差入保証金	2,348,910	1,942,710	406,200				
長期前払費用	1,252,496	72,128	1,180,368				
その他の固定資産	7,389,375	7,410,425	-21,050				
徴収不能引当金△	889,342	895,342	-6,000				
資産の部合計	9,670,019,234	10,184,399,960	-514,380,726				

とぴくす

T O P I C S

コロニー中野

明日へ繋ぐ

今年のコロニー祭りは10月12日に行われる予定でした。しかし、台風19号が上陸し、各地に大きな被害をもたらしました。第24回を数えるお祭りですが初めて延期となり、様々な企画が仕切り直しとなりました。それでも何とか立て直し、11月2日土曜日に快晴の空の下、無事開催されました。

残念ながらベーカリーころころは開店できませんでした。が、他事業所の皆さんの力も借りて、焼き鳥をはじめ、焼きそば、おにぎり、ピザのラインナップをそろえ、飲み物、駄菓子もたっぷり用意しました。4階に用意されたステージでは、地域の学生の皆さんによるコンサートや利用者の皆さんによるフラダンス、ちよっと趣向をこらしてみた手話ビンゴ、そして最後はカラオケ大会。やっている方も観ている方も一緒に楽しめるバラエティに富んだ時間が過ごせました。

そして何よりの自慢は様々な自主製品が並んだお店です。プリザーブドフラワーはもちろん、小さくてかわいいキャップフラワーのマグネットや、レジンの髪留めにも挑戦しました。ま



た、お菓子の入ったエコクラフトのカゴ、ビーズのアクセサリやストラップ、ビーズのワークシヨップも開かれ、大盛況でした。でも一番人気はというと：実はスヌーズレン室（リラクゼーションルーム）のボールプールだったります。今年は入場特典のアメも用意しました。ここって楽しい場所がある！子供たちの笑顔がご褒美のようでした。

「職員が企画し、利用者さんがお手伝いをする」そんなコロニー祭りにはしたくない！と、去年再スタートを切ったお祭り実行委員会。今年はよりコロニーらしく、利用者さんが先頭を走りながらアクシデントにも負けず

がんばってきました。そんな彼らに優しく寄り添いながら頼もしく支え、お祭りを成功させたリーダーの思いを受け継ぎ、「来年はもっともっと楽しいお祭りにするぞ！」と決意も新たに日々を過ごす、私たちコロニー中野の仲間です。

事業部長 満富正子

中野区仲町就労支援事業所

調理の達人..

事業所での美味しい試み

「おいしい食事は人を癒し、人を繋ぐ。」これに異議を唱える人は少ないと思います。私が入職してから唯一ずっと続けさせてもらっている作業に、毎週木曜午前中の調理があります。朝礼でメンバーの中から有志を募り、私も入れ2〜4名で12〜15人ほどの昼食を準備します。外部からの収益が出る仕事ではないので、なぜ続いているのか考えることがあります。そこには①以前配食サービスを業務の一つとしていた歴史、②調理に興味を持つメンバーの惜しみない知識や経験の共有、③手作業の上達手段、④企業就労への職種の選択を広げる等が挙



げられると思います。
 当事業所に現存する古い記録では、2003年にスマイル弁当という名で近隣の高齢者福祉センターに弁当の宅配をしています。新聞レシビ欄の切り抜きやセンターへの手書きのお知らせ「これからも、真心込めて、美味しいお弁当を作っていきます。」からは調理班の意気込みが伝わってきます。

今まで一緒に調理をしてきたメン

バーの中には、調理師免許を取得している方やご家族に長年食事を作ってきた方がいます。料理をすること自体が好きな方も多く、私は色々な調理技術を勉強することができました。特に味付けは、真似出来ない、良い加減をご存じです。計量カップでは出せない、熟練の味の作り方を盗み見させてもらっています。

食材の切り方には色々あります。同じ大きさに揃えなければ出来上がりが時間が違い、皿に盛った時の見栄えも変わってきます。包丁裁きが試されます。鍋から茶碗への配膳も気を遣う作業です。同じ汁物でも具ばかり、汁ばかりではガツカリです。気配りが必要で、使う指先や視覚の繊細さは、軽作業など細かい作業にも通じるものがあると思います。正午に仕上げる時間感覚も大切になってきます。

こうして出来上がった食事を皆で頂きます。「美味しかったよ、ごちそうさま。」とフィードバックは直ぐに調理メンバーに届きます。調理班で喜びを共有します。それが次週の調理に繋がるのだと思います。食事を作って提供する、召し上がって頂いた方々のその後の仕事の活力にしてみたら、それが調理班の「やり甲斐」として戻ってくる。ここに面白さを感じるならば、企業就労を目指す方には、飲食関係も

選択肢の一つになると思います。

職員である私が、調理メンバーの方々に多くを学びながら引つ張ってもらっています。昼時、作業を終え食堂にやってくる皆さんを調理班全員で迎えながら「来週も頑張るぞ。」と気持ちを新たにする今日この頃です。

支援課 佐々木みさき

コロニーもみじやま 支援センター

もみじやまと宿泊訓練と 理学療法士と

去る11月14日から15日に、伊豆での宿泊訓練が行われました。一日目はBBQやアイスクリームづくり、ホテルでの食事に温泉に宴会、二日目は2コースに分かれての観光でした。初日、渋滞による大幅な遅れ等はありませんでしたが、大きな事故も無く天候にも恵まれた訓練となりました。

訓練と銘打つと大仰に感じますが、非日常の中で集団行動を取り、時間や経験を他者と共有し尊重し合うというの、なるほど難しいものです。「楽しかった」と笑顔で家路を辿る方の背を見送りながら、センターの外にある皆さまの生活の一部に触れ、私自身に



とっても支援の新たな気づきを得る良い経験になったと、疲労困憊ながらも感じました。

2018年より、コロニーもみじやま支援センター及びコロニー中野で開始された生活介護事業。理学療法士である私は、主にそのサービス内容のひとつである「身体機能や生活能力の向上のために必要な援助」を提供するひとりとして、2019年6月より勤務しています。基本業務は身体障害に對する一人ひとりに応じた理学療法



運動処方例

の提供となります。

また、当センターには就労移行支援や就労継続支援B型利用者も多数おられ、加齢や病気、あるいは疲労やストレス等によって身体に不調をきたす方、そして利用者の健康を心配するご家族も少なくないと思受けられます。その方々への相談、若しくは治療や予防という形で関わることもあります。サービスや区分の少し外側で、相手に寄り添う支援とは何か、もみじやまの支援員のひとりとして学びの最中にあります。

センター内では、しばしば「仕事」という言葉を耳にします。仕事の正確さや丁寧さに気を配りながら、姿勢や椅子の高さ、クッションの柔らかさ等に目を向けるのも理学療法士であり支援員である私の仕事のひとつです。

これからも日々皆さまと「お疲れ様」を共有していかれたらと考えています。

理学療法士 黒木準平

コロニー東村山

今年も健闘しました！ テニボール大会

11月9日(土)に早稲田大学所沢野球場で開催された第21回関東健康福祉テニボールオープン大会に、今年もまた私達コロニーチームは参加しました。

複数の部門で試合が行われる大会ですが、障害者と健常者が構成されたチームで競われる「選手権の部」に毎年参加させていただいています。過去には優勝の実績もあるのですが、ここ数年惜しくも勝利を得ることができていませんでした。

今年も例年以上にメンバーが集まり、メンバーの打順・守備も検討したため、勝てるのではという思いで、昨年アトビリティでプリントして作製した「コロニーチームオリジナルTシャツ」を身に纏い試合に挑みました。



今年の試合はチーム数を細かく分けられたトーナメント制で、3チームの中で競われ、私達チームは相手2チームと戦いました。

第1戦目の相手チームは打線、守備共に完璧な実力チームで私達チームはなかなか点を稼げず完敗でした。しかし第2戦目では打線が好調で点も稼ぎ、相手チームと互角に争う激戦となり、惜しくも引き分けで終わりましたが大健闘した良い試合となりました。

結果は3位と悔いは残りましたが、青空の下、参加された方々が皆笑顔で楽しくプレイされ、「とても楽しかった。来年もまた参加したい!」という声も頂きました。それがとても良かった事であり、勝ち負け以上にこのテニボール大会に参加する上で一番大事な事だと思っています。

しかし本音では、それでも久々に勝ちたいものです。

バットも2本新しく購入しましたし、来年こそは練習する機会を作り、「勝利」という戦績を残せるよう頑張っていきたいと思っています。

参加された皆様、本当にお疲れさまでした。

DTP係 渡辺 浩

トーコロ青葉ワークセンター

「ムーミンバレーパーク」に いってまいりました

11月8日(金)に恒例の日帰り旅行に行ってきました。今年は飯能市宮沢湖周辺に2019年3月にオープンした「ムーミンバレーパーク」になりました。1週間前の天気予報では傘マークが出て心配しましたが、当日は見事



に予報が外れて快晴となりました。

例年の日帰り旅行は朝8時といつもより早い時間からの集合でしたが、今年は場所も近いということもあって、9時集合といつもと同じ時間での通所となりました。しかし、玄関を開ける8時20分にはいつもより多くの利用者さんが玄関前に集合していました。

各フロアで点呼を取った後はバスが停車している全生園に移動。10時には出発できたので11時ごろにはムーミンバレーパークに無事到着しました。到着後はバスごとに集合写真を撮り食事会場へ。食事はパンに肉や野菜等の具材が乗ったスモーブローというデンマークの郷土料理がメインでした。

食事後は、班ごとにムーミンバレーパーク内を散策。園内を散策しているとムーミン一家や仲間たちに会え、気軽に写真撮影をしてくれました。しか

しムーミンは忙しいらしく、なかなか会うことができませんでした。

今回は利用者の皆さんに、より日帰り旅行を楽しんでもらえるように、ムーミンキャラクターたちの絵柄の缶バッジ作りや、有料アトラクションを体験で

きるように企画しました。缶バッジ体験では14種類ある絵柄の中から好きな絵柄を選び、店員さんの指導を受けながら作成しました。嬉しそうな顔で出来上がった缶バッジを手にお店から出てくる利用者さんもらっていました。

有料アトラクションは車椅子対応のアトラクションが2か所あり、どの班もどちらかのアトラクションを体験していました。特に人気があったのが「海のオーケストラ号」でした。



皆さん、合間にお土産を買ったり、ムーミンショーを見たりして時間いっぱい過ぎされました。帰りも渋滞に巻き込まれることなく無事に帰ることができ、現地でゆっくりのんびりできた旅行になりました。

旅行実行委員会 橋川直紀

職能開発室

在宅パソコン講習生、葛飾福祉工場を見学するの巻

雲一つない秋晴れの11月19日、在宅パソコン講習事業の講習生4名と講師陣は、葛飾福祉工場の見学にまいりました。主たる目的は2つ。在宅で働いておられる方々のテレビ会議の様子を見せていただくことと、就労継続支援A型やB型といった福祉的サポートを伴う就労の形態を知ることです。ご多忙にもかかわらず、事業所の皆さんは、暖かくそして楽しくご対応下さいました。

講習生が訪問後に書いた「ネットミーティングを見学して僕にも出来そうだと思います」の感想には講師

ニンマリ。普段、仕事の話題がピンと来ない二十歳前後の方々ですが、この日は先輩方の仕事風景を、しっかりと自分に引き付けて理解したということでしょう。

また、「在宅で働いている方の会話を見て、わかりやすく伝えることの大切さを知りました」「様々な働き方があることがわかり、将来の参考にしたいと思います」など、こちらが持つて帰ってほしいと希望した内容を持ち帰り受けとっていたようでした。

全講習生から挙がったのは、「葛飾福祉工場では、どのような職種であっても自分の仕事に誇りを持っていると感じました」という感想です。

レタス工場を説明してくださったB型就労の方の静かで爽やかな自信には、一同惚れ惚れいたしました。





この日のラストは、アンテナショップで時間を超えて買い物に没頭したうえ、予期せぬたぐさんのお土産をいただきニコニコ顔で金町駅へ。関わって下さった皆さまは、さぞ準備に時間をかけて下さったことでしょう。葛飾福祉工場のファンが多い理由を垣間見た1日でした。

所長 堀込真理子

東京都葛飾福祉工場

研修旅行

「東京デイズニーランド」

10月18日、夢の国「東京デイズニーランド」へ行ってきました。

事業所の研修旅行は昨年に引き続いて東京デイズニーリゾートとなりました。交友会の会長を引き継ぎ、年間行事を検討している時から、昨年の「デイズニー・シー」の次にはランドに

行きたい。」との意見が多くありました。今年は総勢105名の参加があり、全体を16のグループに分け、リフト付バス1台と大型バス2台を連ねての移動でした。

去年は東京デイズニーリゾート35周年「Happiest Celebration」でしたが、今年はハロウィンの時期にあたり、本物のキャラクターと間違えてしまいそうなコスプレをした入場者も多く、園内を廻るだけでも十分楽しめました。葛飾福祉工場からも仮装したグループがあっても楽しかったかなと思いました。

事前に綿密な予定を組んで、短時間の間に7つのアトラクションを廻っ



たグループや、昼の混雑を避けるためにレストランを予約したグループもあったようです。

当日の天気予報はあいにくの雨でした。しかし、事業所に帰り着くまで雨が降ることはなく、バスが事業所に到着する頃になってパラパラと降ってきました。

日帰り旅行のため正味5時間程の滞在でしたが、各グループごとに「夢の国」東京デイズニーランドを満喫することができました。葛飾福祉工場も年々平均年齢が高くなっていますが、2年続けてデイズニーリゾートへの研修旅行は、年齢にかかわらず楽しめる、まさに「夢の国」でした。

翌日には「夢の国」から現実の世界へ。

また来年も楽しい研修旅行になれば良いと思います。

防災営業部 防災システム課

防災システム係長 松橋勇人

東京都大田福祉工場

横須賀・遊覧船と花の国見学

10月4日（金）、大田福祉工場では昨年に続く2回目のバス旅行を企画



横須賀軍港めぐりの船上
海上自衛艦や米国軍艦が沢山寄っていました

しました。前日の3日は台風が日本列島を通過していたため、当日はどうなることかと心配していましたが、参加された30数名の利用者さん（従業員を含めて総勢約50名）の願いが届き、お天気に恵まれることができました。

バス2台に分乗して工場を出発し、まずは横須賀港の遊覧船乗り場に向かいました。港にはアメリカ海軍と海上自衛隊の施設があることから、実際に停泊しているイージス艦、空母や潜水艦などを遊覧船から間近で眺めることができ、利用者さん達は甲板に出て初めて見る艦船をバックに盛んに記念写真を撮ってその巨大さを満喫していました。45分ほどのクルーズ終



レストランでの食事
地元の肉あり魚ありで美味しくいただきました

了後、夕飯に食べるためにと、有名な「軍艦カレー」をお土産に買う姿もありました。

昼食は東京湾横断フェリー乗り場近くにあるレストランで、お刺身が付いた「しゃぶしゃぶ御膳」を美味しく頂きました。レストランの出発時刻が近づいた時、利用者さんお一人の姿が見えなくなるハプニングが起きましたが、台風余波で欠航して停泊中のフェリーを見物しているのを発見し事なきを得ました。

次は、緑豊かな自然とのふれあいを満喫できる花をテーマにした「くりはま花の国」公園を訪れました。ちょうど、レモン色のコスモスが見頃で、ピンク色の花もチラホラ咲き始めていました。利用者さん達の多くが広大で傾斜のある公園内を元気に散策していました。そして花の香りを胸いっぱい吸い込みながら初秋の魅力を満喫していました。散策した後、売店でラベンダーソフトを美味しく食べながら、「今日一日がすごく楽しかった。」と言ってくれた利用者さんの言葉を聞いて、それまでの疲れが癒されました。

帰りのバスでは、大半の人がうたた寝していましたが、その様子を見て、旅行の幹事としては、少しは想い出作りのお役に立ったかなと嬉しく感じた旅行でした。

就労支援課 和田守央

福祉事業本部

天神山グループホームの 防犯対策について

法人で運営するグループホームは4事業所、11ユニットですが、天神山グループホーム（こあらハイツ）は、



一戸建ての女性専用のグループホームで、入居者も従業員も女性のみでの生活となります。

当グループホームは、閑静な住宅街にあり住みやすい環境下にありますが、防犯面の対策は重要となります。既に、センサーライトの設置や防犯砂利が敷地内に敷き詰められていましたが、居室から外の様子を確認することができませんでした。そこで、更なる安心安全の為に、9月25日、防犯カメラ及び敷居内への侵入警戒センサーを設置しました。防犯カメラは、宿直室にモニターがあり、異変を画像で確認できます。また、侵入警戒センサーを、1階の3つのベランダに各々取り付けましたことにより、不審者が敷地内に入



った途端、アラーム音が宿直室内で鳴り響きます。従業員はアラームの音とモニターの画像で状況を把握し、素早い通報ができるようになりました。

このたびの設備で、よりいっそう安全で安心な環境を入居者のみなさんに提供しご支援できることとなりました。

天神山グループホーム（こあらハイツ）サービス管理責任者 名和美鈴



法人の主な動きから

理事・監事・苦情解決第 三者委員の選任

2019年6月29日に開催された第90回評議員会及び第305回理事会において、任期満了にともなう理事・監事・苦情解決第三者委員の選任が行われましたことをご報告いたします。引き続き東京コロニーの事業に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。

〈任期…2019年6月29日から2021（令和3）年定時評議員会終結時まで〉

理事 中村 敏彦（理事長）
理事 鬼頭 克介（常務理事）
（IT事業本部長、福祉工場事業本部長、東京都葛飾福祉工場所長）
理事 加藤 留美子（福祉事業本部長）

理事 今西 康二
（社会就労事業本部長、コロニーもみじやま支援センター所長）

理事 吉村 謙次
（東京都葛飾福祉工場副所長）

理事 湯浅 克己
（東京都大田福祉工場所長）

理事 星 忍（事務局長）

監事 山根 伸右（弁護士）

監事 神野 敏夫（新任）
（元当法人事務局長）

監事 富所 淳（新任）
（公認会計士）

苦情解決第三者委員 朝日 雅也

苦情解決第三者委員 山根 伸右

苦情解決第三者委員 湯田 正樹

（敬称略）

※前期をもちまして、加藤一志監事におかれましては任期満了につきご退任されました。長きに渡りご指導いただきありがとうございました。

（事務局）

会計研修の実施

11月22日、各事業所の所長、管理職、会計担当者を対象とした会計研修を実施しました。

講師は当法人の顧問会計士・税理士である小澁高清先生にお願いし、「社会福祉法人の計算書類の読み方」と題して、財務三表のつながりを具体的な数値をもとにわかりやすく解説していただきました。また収益性や安定性

などをみる経営診断の指標について、実際の事業所の貸借対照表から各自で数字を拾い電卓で計算をしてみるなど、具体的な演習を通じて経営状況を把握する方法を学びました。

会計研修に続き、1月には全事業所の人事評価者が集まっての評価者研修を2回に分けて開催します。

これからも法人全体で経営や人事管理に役立つ研修を積極的に行っていくしたいと思います。

事務局次長 岩田真紀



アートビリティ Artbility ギャラリー 43



『千両』 三浦 有子さん

アートビリティ登録作家であり、「色鉛筆花画家」として活躍中の三浦 有子さん。三浦さんの作品からは、花が生物であることを再確認させられるような躍動感や、触感を呼び起こされます。

三浦さんは、小さなころから絵を描くことが好きだったそうです。絵を描くことを仕事にできたら…との思いから、アートビリティに応募し、2014年から登録作家として活躍されています。

今回ご案内する「千両」も、真っ赤なたわわな実と、濃い緑色の葉とのコントラストが強調され、触りたくなるような実、触れるとこぼれ落ちてきそうな実が、みごとに描かれています。

お正月に玄関飾りや生け花として飾られる「センリョウ」。その美しさは「“千両”に値する」とか、そのたわわな実から「富や財産を築く縁起物」として日本で尊ばれてきました。

今年一年が実り豊かな一年でありますことを祈念して、アートビリティギャラリーのお勧めの作品とさせていただきます。

1973年生まれ。神奈川県在住。

心の病を患い、症状が落ち着いていた時期に色鉛筆画に出会う。

色鉛筆の色の美しさ、描く楽しさを知り、心安らぐ「花」をモチーフに、花の絵で観る者を癒すことをテーマに活動中。

2014年 アートビリティ登録作家となる。

2015年 第6回「小さな小さな絵の展覧会」出展。

2017年 Paralym Art×EPOS CARD「エポスデザインカード新デザイン人気投票」優秀賞受賞 デザイン採用。

2019年 「三浦有子個展－花の色鉛筆画－」(初個展 みつゐ画廊にて開催)

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。約200名の作家による約5,000点の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

ご寄附のお礼

(2019年6月～2019年11月 総額 7,185千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2019年6月 株式会社トライフ 様

2019年9月 藤原 幹雄 様

2019年6月 金子 倫久 様

2019年9月 全国本田労働組合連合会 様

2019年7月 三菱商事株式会社 様

2019年9月 三菱商事株式会社 様

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

東京コロニーのホームページ



東京コロニー メインページ
<https://www.tocolo.or.jp/>



コロニー東村山
<https://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/>



コロニー印刷
<https://www.colony.gr.jp/>



デジタル メディアセンター
<https://www.tocolo.or.jp/dmc/>



アートビリティ
<https://www.artbilty.com/index.html>



東京都大田福祉工場
<https://www.ootafukushikojo.org/>



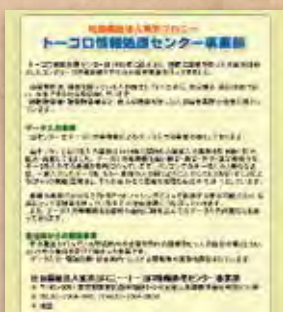
トーコロ情報処理センター職能開発室
<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



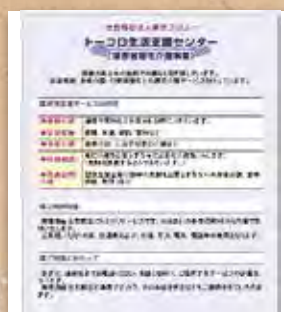
トーコロ青葉ワークセンター
<https://www.colony.gr.jp/aoba/>



東京都葛飾福祉工場
<https://www.fireman21.net/>



トーコロ情報処理センター事業部
<https://www.tocolo.or.jp/joho/>



トーコロ生活支援センター
<https://www.tocolo.or.jp/seikatu/index.html>



グループホーム
<https://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>



中野区仲町就労支援事業所
<https://colony.gr.jp/nakatyoushienn/>



コロニーもみじやま支援センター
<https://colony.gr.jp/momijiyama/>



コロニー中野
<https://colony.gr.jp/colonymakano/>